

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 196 号 2014. 8. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

北海道 尾針農園だより

尾針真智子



今年もいろいろな問題乗り越え、無事に、玉ねぎと、かぼちゃの収穫ができそうです。まず今年は雨が不足し、育たないかなと思っていたところ、7月に有効な雨が降り、そのおかげで成長しました。大きな感謝です。そして今度は8月、ニュースにもなった大雨の中、作物が流されることなく、奇跡的に無事でした。その報告をします。

北海道の北にある名寄市は、台風も地震もほとんどない地域で、災害という意識があまりありません。ところが今月5日に前夜から珍しいほどの強い雨が降り、朝になっても降り止まず、通勤で通る一級河川の天塩川は、雪解けのときより増水していて、驚きました。それでもそれほどの危機感はなく、職場にいました。

そのうちにバケツをひっくり返したような雨になり、道路の排水が間に合わず、所々雨水があふれていること、市街地を流れる川があふれそうで、一部の地域に避難勧告が出ていると報告がありました。これ以上降り止まなければ、帰宅できなくなると思い、準備のため昼休みに自宅に荷物を取りに車を走らせると、朝の通勤時より、はるかに河川の増水は増していて、怖いくらいで、土地の低いところの畑は冠水して沼のようになり、自宅近くの水田もすっかり水に浸かっているところもありました。

自宅の裏側にある畑、隣の水路もあふれそうで、どうなるか心配でしたが、祈る気持ちで職場に戻りました。ニュースで報道されるくらいの状況になっていましたが、不思議にも午後から雨足が少しずつ弱くなってきて、夕方には避難勧告も解除されました。自宅はどうなったかと不安になりながら帰宅すると、やはり畑の隣の水路はあふれ、畑の中の水が流れたそうです。もう少しで私の所の玉ねぎが流されるところでしたが、玉ねぎの横を川になって流れてだけで済みました。母も畑の少し低くなっている場所に溝を掘って、道路脇の水路に水を誘導するなどしましたが、もう少しでも雨が降り止まずにいたら、玉ねぎはなくなっていました。なんという感謝でしょう。鳥肌が立ちました。さすが自然農法です！



おかげで今は生育が進み、茎が倒れています。茎が枯れたら抜いて収穫です。かぼちゃも流されずに大きくなっています。今年の味はどうかと楽しみです。販売も例年通りに行います。



雨水が畑の左横を流れただけですむ

TOREK 夏季農産展 2014

● 8月3日(日) 販売

日曜日とあって、いつもより人が多かった気がします。毎回行列ができるカキ氷には、新しくヤマモモ味が登場。食べた小学生のお子さんは「甘酸っぱくておいしい。イチゴの味みたい！」と喜んでいました。「熱中症対策にミニトマトはいかがですか。甘いですよ」という声が印象的でした。

サービスの冷茶を頂き、香りととのど越しの良さにほっと一息。生産者の方々とのおふれあいも楽しみながら、夏野菜や加工品をあこれ買い込み、今年の猛暑もこれで乗り切れそうと思いました。



● 8月17日(日) 展示

出品者数 70、出品数 365。会場に並んだ無施肥無農薬栽培の作物を見ながら、生産者のコメントを読んでいくと、皆さんの愛情がこめられていること、真剣に取り組んでいることがよく分かりました。

自然農法 29年の人間グループの畑の様子が掲示されていて、その中で、夏でも足が冷える方が畑に参加したあと、ずっと温かかったことや、足の悪い方が畑に来たら、気持ちよく歩けたことなどを学び、自然農法の見えない土の力に感動しました。そして今回、新たに「生産者コーナー」が設けられ、五十嵐さん、金野さん、斉藤さんとお話しができました。夏野菜のおいしい食べ方や、育て方など、また徹底的に草取りをすること、丁寧な種まきの仕方などが聞けて、とても参考になりました。



また、試食コーナーでスイカが出たときは大人気でした。甘くおいしく、来場者が集まってきて、すぐになくなるほどでした。またびっくりしたのは、生の玉ねぎのフルーツのような甘さでした。それをミニトマトとあわせると、超絶品のサラダになりました。その他に、ナスの塩もみ、ねっとりとしたジャガイモなど、みんなおいしくて、何度も食べに行っていました。自然農法の作物に癒された日になりました。(編集部)



野菜作りをがんばる！ 新潟県 丸田静子

今年も無事に農産展に出品できました。平成13年春より、家の近くで60坪ほどの畑を借りて、自然農法に取り組んでいます。その畑は、もともとは沼地の雑木林でした。そこを川上で埋め立てた土地です。土は粘土質で、乾燥すると地割れがする硬い畑です。土の状態の良いときに耕さない、土は細かくなりません。そんな畑ですが、今夏はナス、ジャガイモ、オクラ、玉ねぎ、メロン、トウモロコシが収穫できています。

特に今年は、メロン2本の苗から13個のメロンがなり、甘味が強く、実がしっかりとっていて、とてもおいしく、孫が大喜びで食べてくれました。トウモロコシも、今までは小さく、実もそろっていませんでしたが、今年は一粒一粒がしっかりと実り、市販のものと同じくらいに大きく育ちました。今年水くれをしっかりとできたこと、幹の支えをしっかりとすることで、幹がグングンと太く育ってくれたのだと思います。草取りも続けています。心をこめて、手をかければ野菜たちもしっかり答えてくれるのを、少しずつ感じられようになってきました。

昨年は娘が、食に関心のある方に、畑のサツマイモと富田さんの自然米を渡したことがきっかけで、そのご家族が健康的にも変わってきているようです。まだうちの家族6人が食べる量すべては、まかないきれませんが、家族の健康のためと、また自然農法のお知らせのために、野菜作りをがんばっていきたいと思います。



夏季農産展出品

お知らせ 自然農法勉強会 8月27日(水) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
自然農法頒布会 8月26日(火)、9月19日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~

無施肥無農薬栽培物の販売予定 9月3日 於：伊都能売会館
生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ：煎茶、ほうじ茶、みかんジュース ● 長柄山自然農園：卵、ひき肉(予約制)
- きじま平自然農産：ブルーベリージャム、きゅうり、白いんげん
- 中島農園：ミョウガ、カボチャ、インゲン、ジャガイモ、ピーマン、シシトウ
- 菜園金野：ミニトマト、トマト、ジャガイモ、玉ねぎ、ピーマン、ニンジン
- ジョリフィーユ：自然のみかんジュースゼリー、モカロール、カスタードプリンほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp